

第3回

『地域公共交通計画改訂に向けた進捗状況』



令和 8年 9月 8日（火曜日）

10時00分～ 登別市役所 議場

登別市地域公共交通活性化協議会
市民生活部 市民協働グループ

本日の説明内容

1. 計画の概要説明

- (1) 計画の章構成（案）
- (2) 調査実施の概要

2. 調査結果の概要

- (1) 交通事業者ヒアリングの結果概要
- (2) 市民アンケートの結果概要
- (3) 外国人アンケートの結果概要

3. 登別市の現状整理（統計データ分析）

- (1) 人口情報及び公共交通ネットワークのカバー状況
- (2) 公共交通の利用状況
- (3) 外国人の来訪者動向

① 計画の概要説明

(1)計画の章構成(案)

- 国土交通省が示す『アップデートガイダンス』を踏まえ、現行計画の目次構成を見直す。(基本的にアップデートガイダンスに準拠)
- 方針や施策等の結論に該当する項目を前半に位置づけ、方向性を把握しやすい計画書とする。

現行計画

目次構成

- 1章 はじめに
 - 1-1 計画策定の目的
 - 1-2 計画の区域
 - 1-3 計画の期間
 - 1-4 計画の位置づけ
 - 1-5 上位計画・関連計画の整理
- 2章 登別市の地域公共交通を取り巻く現状と課題
 - 2-1 地域特性
 - 2-2 SDGs の取組
 - 2-3 公共交通の概要
 - 2-4 各種調査結果の概要
 - 2-5 公共交通の課題整理
- 3章 登別市の地域公共交通計画の基本理念と基本方針
 - 3-1 基本理念の設定
 - 3-2 基本方針及び目標の設定
- 4章 目標を達成するための施策
 - 4-1 目標ごとの施策内容
 - 4-2 基本方針に係る数値目標
- 5章 計画の推進
 - 5-1 推進体制
 - 5-2 計画の進行管理
 - 5-3 用語解説

-ブラッシュアップ-

国のアップデートガイダンスを踏まえて

■アップデートガイダンスで示されている目次構成

1. 基本方針
 - 1-1 課題の洗い出しの結果
 - 1-2 地域交通が目指す姿
 - 1-3 計画目標
 2. 計画区域、計画期間
 3. 施策・事業
 - 3-1 施策の内容
 - 3-2 実施主体
 - 3-3 実施スケジュール
 4. KPI
 - 4-1 KPI、目標値
 5. PDCAスケジュール
 - 5-1 評価体制
 - 5-2 評価スケジュール
- 資料編
- 1 地域の現状等
 - 2 上位・関連計画の整理
 - 3 自己評価シート

変更のポイント

- ✓ 国のアップデートガイダンスに準拠
- ✓ 章構成をシンプル化し、「課題・目標・施策」を前半に位置づけ
- ✓ 地域特性等のデータ整理は資料編に一括して整理

改訂計画

目次構成

- はじめに
- ・計画策定の目的
 - ・計画の区域
 - ・計画の期間
 - ・計画の位置づけ
- 1章 基本方針
 - 1.1 課題の洗い出しの結果
 - 1.2 地域交通が目指す姿
 - 1.3 計画目標
 - 2章 施策・事業
 - 2.1 施策の内容
 - 2.2 実施主体
 - 2.3 実施スケジュール
 - 3章 KPI
 - 3.1 KPI・目標値
 - 4章 PDCAスケジュール
 - 4.1 評価体制
 - 4.2 評価スケジュール
- 資料編
- 資料1 地域の現状
 - 資料2 上位計画・関連計画の整理
 - 資料3 自己評価シート

(2)調査実施の概要

- 計画改訂にあたって、交通事業者ヒアリングや各種アンケートを実施した。
- 対面ヒアリング、無作為抽出・郵送による市民アンケート、パネル型の外国人アンケート、地域住民との意見交換会を実施した。

各種調査の概要

項目	調査内容	内容
交通事業者ヒアリング	調査日・期間	R8.6.23/R8.7.6/R8.7.7/R8.7.13
	対象者	登別ハイヤー(株)、JR北海道(株)登別駅、道南バス(株)、室蘭ハイヤー(株)
	実施手法	対面ヒアリング
市民アンケート	調査日・期間	R8.7.9~7.31
	対象者	登別市民
	実施手法	住民基本台帳による無作為抽出、料金受取人払郵便による郵送調査
外国人アンケート	調査日・期間	R8.7.13~7.31
	対象者	外国人観光客
	実施手法	パネルへのシール貼付(パネル型アンケート) 「設置箇所:登別市観光交流センター(ヌプル)/登別国際観光コンベンション協会/登別パークサービスセンター」
「移動」に関する意見交換会	調査日・期間	R8.8.4/R8.8.5/R8.8.7
	対象者	登別市民
	実施手法	グループトーク(ラウンドテーブル) 「実施場所:鷺別コミュニティセンター/登別市民会館/登別市観光交流センター(ヌプル)」

公共交通事業者ヒアリング



市民アンケート



外国人アンケート



② 調査結果の概要

2.調査結果の概要

(1)交通事業者ヒアリングの結果概要

- 交通事業者は、運転士・整備士不足等の課題を抱えており、改善に向けた人材確保の取組を実施しているが、「免許取得のハードル」「残業規制・働き方規制」による対応の難しさ等が挙げられた。
- コロナ禍以降、利用者が戻らず利用水準が低い。一方、インバウンドの利用は増加している。

交通事業者ヒアリングの回答結果(一部抜粋)

分類	事業者	内容
交通事業者が抱える課題	バス	運行面 担い手不足が深刻化しており、ドライバーに加えて整備士も不足。
		経営面 - 燃料費やブレーキオイル等に係る経費の高騰、賃上げに伴い、人件費が増加。 - 路線バスの収益性が低下傾向
		利用 コロナ禍以前の利用水準に戻っておらず、今後も回復基調ではない。(少子高齢化)
	タクシー	運行面 - 現行体制でなんとか対応しているが、特に冬期等、一時的な需要への高まりへの対応が懸念。 - 担い手不足・高齢化は全国的な問題でもあるが、同様の煽りを受けている。
		経営面 - 最大の課題は燃料費の高騰であり、人件費と燃料費をあわせて9割を占める。 - コロナ禍以降、夜の繁華街へ出る若者が減った印象があり、収支に影響を及ぼしている。
		利用 - コロナ禍以前の利用水準に戻っておらず、今後も回復基調ではない。(少子高齢化) - 一方、外国人の利用は増加傾向。
改善が難しい障壁	鉄道	利用 - 駅の利用者数は、中国人の減少により昨年度よりも減少している印象。一方、欧米圏からの利用者は増加傾向。 - 利用者からはICカードの導入要望の話を聞くことが多い。導入できればスムーズな支払いができる。
	バス	- 大型2種免許の取得に係る負担が大きな参入障壁。(人手不足が改善しない) 2024年問題や働き方改革により、分割休憩/シフト勤務の運用が困難になりドライバーの確保に苦勞。集中する需要(朝夕/観光期)への対応が困難。
登別市に対する要望	タクシー	2種免許の取得に係る負担が大きな参入障壁。(人手不足が改善しない) - 行政上の手続きが煩雑であるため、シームレスな運賃設定ができない。(会社が5周年のため5%OFFなど)
	バス	- 登別市は室蘭市を商業圏とする市民も多いため、室蘭市との連携策も必要ではないか。 - 観光客と市民双方の移動手段確保に向けた施策を期待。
	タクシー	引き続き、市との協働・連携策には協力する意向。一方、実証実験だけで終わってしまう事業も多いため、社会実装まで見据えた取組を期待。
	鉄道	現時点では、市との連携策は検討していない。

2.調査結果の概要

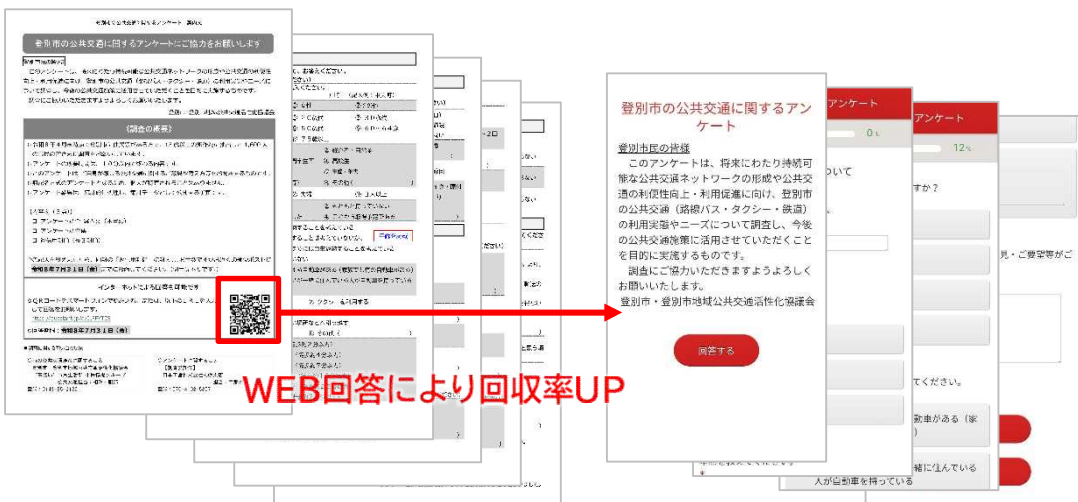
(2)市民アンケートの結果概要

- 回答数は636票(紙:349票 WEB:287票)。回収率は39.7%(約4割)であった。
- アンケートにQRコードを記載することでWeb(PC、スマホ)回答も可能とした。

市民アンケートの設問

設問	内容
1 個人属性	1)居住地域・性別・年齢・職業 2)世帯構成 3)普通自動車運転免許証の有無 4)運転免許証の自主返納について 5)外出で特に使う移動手段 6)徒歩で移動可能な距離
2 平日及び休日の外出行動について	1)外出目的 2)目的地 3)外出頻度 4)主な移動手段
3 各公共交通機関の利用状況	
<鉄道(JR)の利用状況>	1)利用有無・利用頻度・利用目的 2)主に利用する鉄道駅 3)鉄道駅までの移動手段 4)利用しない理由
<路線バスの利用状況>	1)利用有無・利用頻度・利用目的 2)主に利用する停留所 3)最寄りまでの所要時間 4)利用しない理由
<タクシーの利用状況>	1)利用有無・利用頻度・利用目的 2)利用しない理由
4 公共交通の満足度	1)鉄道(JR)に関する満足度 2)路線バスに関する満足度 3)タクシーに関する満足度
5 今後の公共交通サービスに対する考え	
6 今後の登別市の公共交通の維持・整備に向けた施策の方向性	
7 その他、公共交通に関する意見・要望	

アンケート用紙やWEB画面



WEB回答により回収率UP

▲アンケート用紙

▲WEB回答ページ

アンケート概要

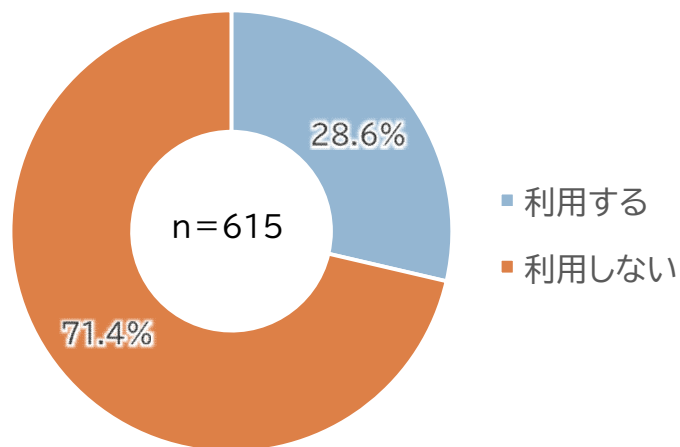
項目	内容
実施期間	令和8年7月9日(木)～7月31日(金)
調査対象	登別市に在住する15歳以上の男女1,600人(無作為抽出) ※登別市で地域別対象者を抽出
配布数	1,600票
回答数・率	636票(紙:349票 WEB:287票) 回収率約4割
配布物	依頼文、アンケート調査票、返信用封筒(長3封筒)
調査方法	郵送配布・郵送回収を基本とする。 別途Web回答画面を作成し、アンケートにQRコードを記載することでWeb(PC、スマホ)回答も可能とする。

(2)市民アンケートの結果概要

- ・路線バスを利用すると回答した人は615人中176人(28.6%)であった。
- ・路線バスを利用しない理由は「他の交通手段の方が便利」が206人(30.4%)と最も多く、次いで「運行本数が少ない・時間が間に合わない」が146人(21.4%)となっている。
- ・「その他の意見」においても、他の交通手段の方が便利(自家用車を利用するから等)が最多となっている。

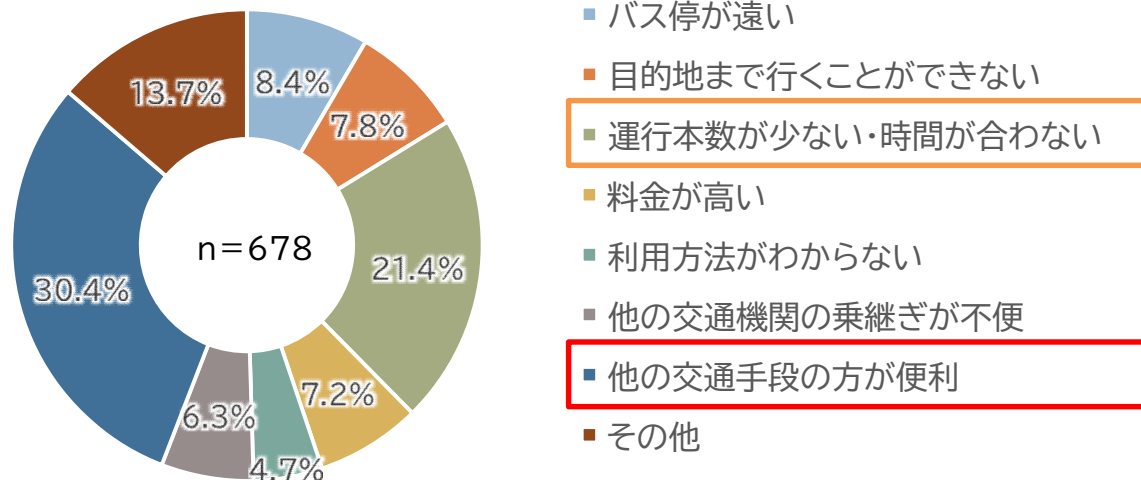
公共交通の利用状況

■路線バスの利用



公共交通を利用しない理由

■路線バスを利用しない理由 ※複数回答



利用しないその他の意見

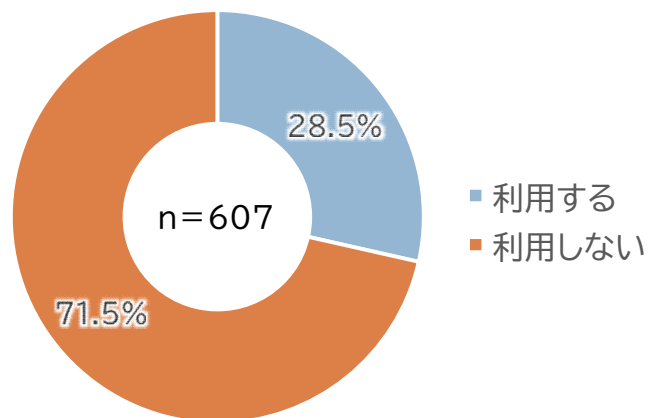
内容	票数
他の交通手段の方が便利(主に自家用車を利用すると回答)	74
用事がない(必要性を感じない、家を出ない意見)	5
駅まで行けない(体が不自由で外出が難しい意見)	5
運行本数が少ない・時間が合わない(本数・時間的制約)	2
目的地まで行くことができない(路線的制約)	2

(2)市民アンケートの結果概要

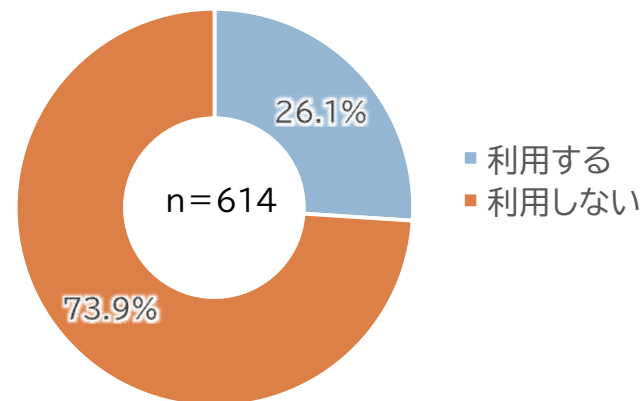
- ・タクシーを利用しない理由は「料金が高い」が223人(37.8%)と最も多く、次いで「他の交通手段の方が便利」が169人(28.6%)となっている。
- ・鉄道(JR)を利用しない理由は「他の交通手段の方が便利」が214人(26.1%)と最も多く、次いで「自宅から駅が遠い」191人(23.3%)となっている。

公共交通の利用状況

■タクシーの利用



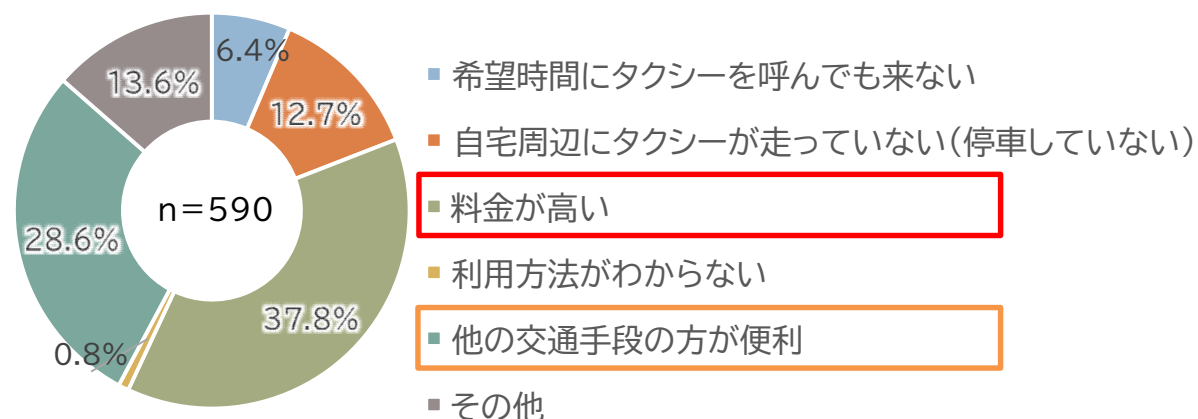
■鉄道(JR)の利用



公共交通を利用しない理由

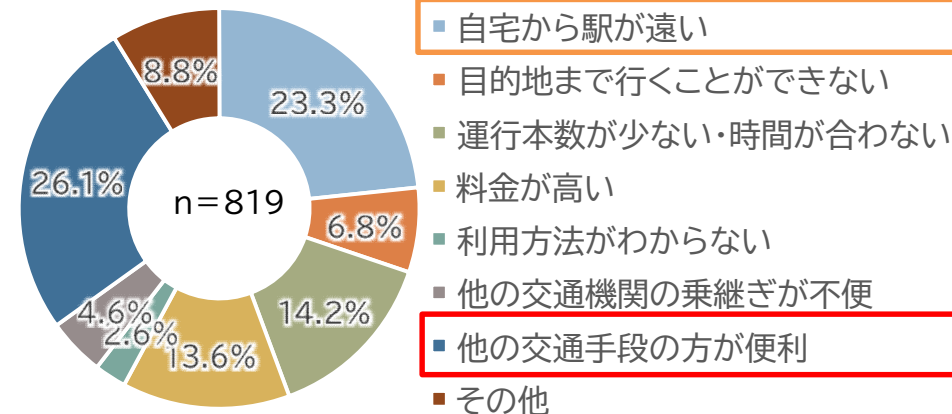
■タクシーを利用しない理由

※複数回答



■鉄道(JR)を利用しない理由

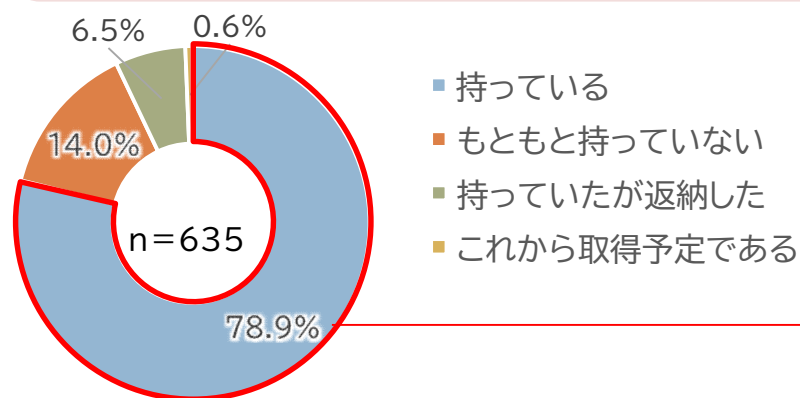
※複数回答



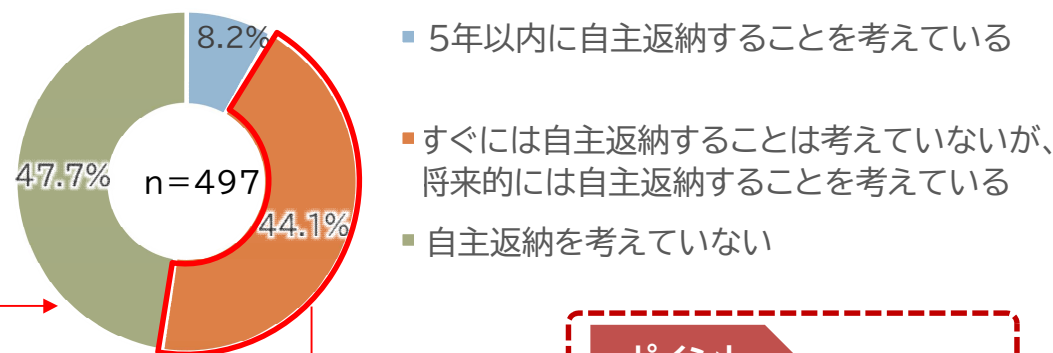
(2)市民アンケートの結果概要

- 501人(78.9%)が運転免許を保有しており、うち将来的な自主返納(5年以内に自主返納を考えている方も含む)を検討している方は260人(52.3%)となっている。
- 運転免許を自主返納することを考えている年齢は、後期高齢者(75歳以上)になってからと考えている方が76.4%となっている。
- 自主返納後の移動手段として、260人(43.6%)がバスの利用を想定している。

運転免許保有状況



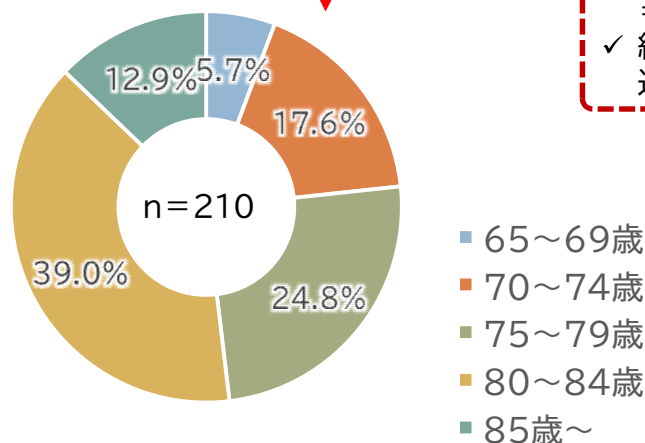
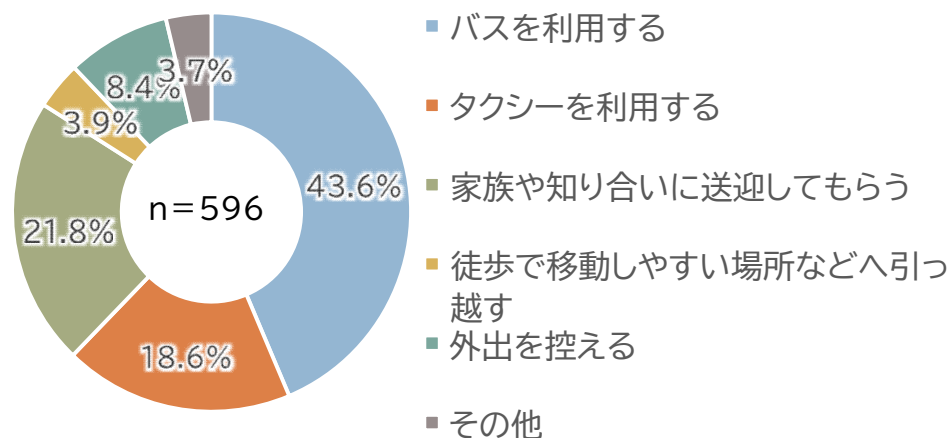
運転免許保有者の今後の自主返納予定



ポイント

- ✓ 65歳未満と回答した人は0人
- ✓ 65～74歳(高齢者) = 23.3%
- ✓ 75歳以上(後期高齢者) = 76.7%
- ✓ 約8割が後期高齢者の年齢で返納を検討

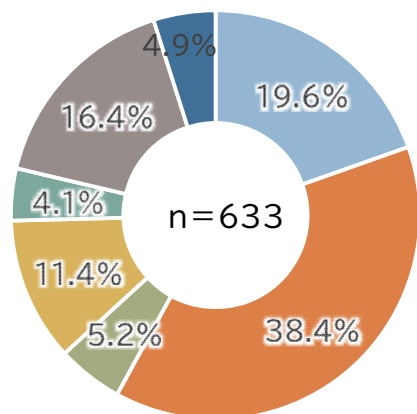
運転免許保有者の自主返納後における移動手段(想定)



(2)市民アンケートの結果概要

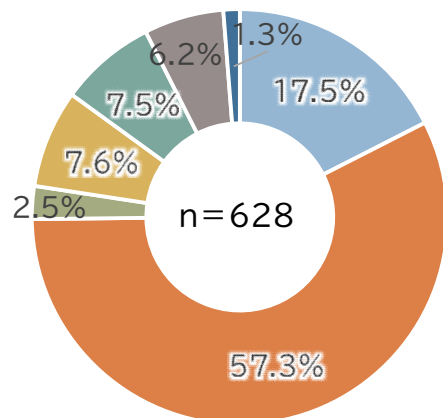
- 公共交通サービスの確保に向けた意見・要望として、「利便性向上による利用促進」が243人(38.4%)と最も多く、「予算規模拡大によるサービス充実・利便性向上」が104人(16.4%)と3番目に多い(合計54.8%)。
- 一方、「運行維持のための運賃引上げ」を許容する意見が124人(19.6%)と2番目に多く、「運行維持のための減便・サービス低下」を許容する意見が72人(11.4%)と4番目に多い(合計31.0%)。

“公共交通サービスを運行維持”に向けた市民の考え方



- 運行を維持するため、運賃を引き上げてでも、運行を維持すべきだと思う
- 運行を維持するため、運行ルートの変更や運行内容等の周知徹底、利便性の向上などにより、利用者の増加に努めるべきだと思う
- 運行を維持するため、主要路線が通る周辺地域に住む人を増やす「居住誘導」を行い、輸送の効率向上に努めるべきだと思う
- 運行を維持するため、減便や運行形態の変更、乗り換え(乗り継ぎ)の発生等はやむを得ない
- 他の市民サービスを削減してでも運行を維持すべきだと思う
- 予算規模を拡大し、更なるサービスの充実と利便性の向上に努めるべきだと思う
- その他

登別市の公共交通の維持・整備に向けた“施策の方向性”に関する市民の考え方



- 市民の通勤通学・帰宅時間帯の利便性向上
- 市民の買い物や通院など日常生活の利便性向上
- 観光客や外国人も利用しやすい公共交通の整備
- 市外との広域的な移動の利便性向上
- 先進技術(自動運転やMaaSなど)を活用した利便性向上
- 現状の維持
- その他

ポイント

- 赤系色: ポジティブ
青系色: ネガティブ
- ✓ 市の予算規模拡大や企業努力による利便性向上を求める声が多い
 - ✓ 一方、値上げや減便を許容する意見も多いことが特徴

2.調査結果の概要

(3)外国人アンケートの結果概要

- 「台湾、韓国、中国、その他アジア、香港、北アメリカ、その他」の7つの出身国※に予め定めた色のシールを各設問に貼り付ける手法で回収。 ※登別市に来訪する観光入込客数の国別内訳を踏まえて設定
- R8.7.13～7.31の期間で、**2,443票**の回答が得られた。

外国人アンケートの設問

No.	設問内容
問1	登別温泉までの交通手段は？
問2	公共交通の満足度、評価は？
問3	公共交通について、改善すべき点・より良くするポイントは？

アンケート概要

項目	内容
実施期間	令和8年7月13日(月)～7月31日(金)
調査対象	登別温泉を訪れる外国人観光客
設置施設	・登別市観光交流センター(ヌプル) ・一般社団法人登別国際観光コンベンション協会観光案内所 ・登別パークサービスセンター(ビジターセンター)
回答数	2,443票
設置物	A0パネル・シール・イーゼル
調査方法	パネルにシールを貼り付けて回答を得る



▲アンケートパネル(A0)



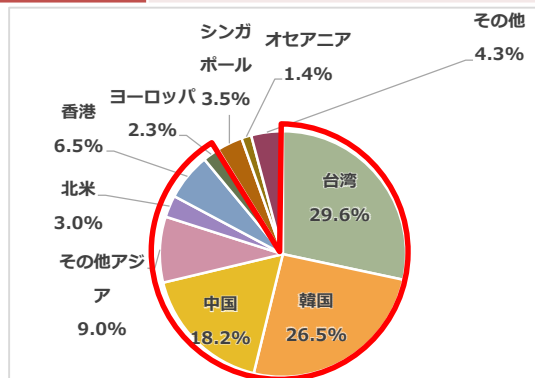
▲回答の様子



▲パネル設置状況



国ごとに色分けされたシールを貼る



▲国別インバウンドの来訪者割合 (令和6年度実績)

ポイント

令和6年度の国・地域別外国人観光客数の構成を踏まえ、回答者の出身地を7区分に設定

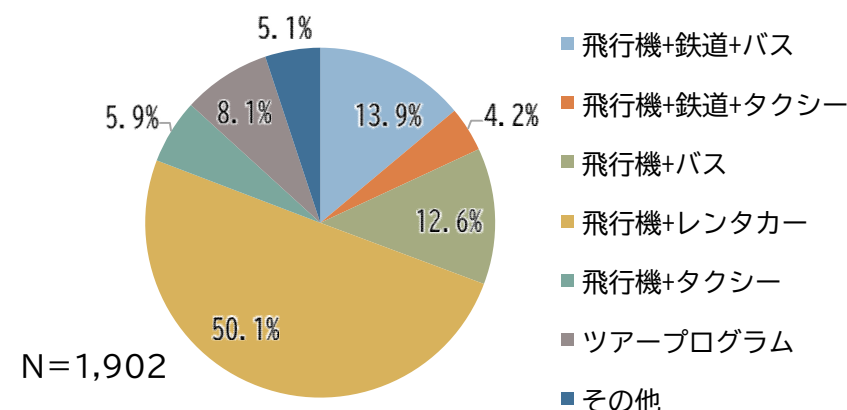
(3)外国人アンケートの結果概要

- R8.7.13～7.31の期間で、N=2,443の回答が得られた。
- 登別温泉では「レンタカー」の利用、登別駅では「鉄道+バス」「鉄道+タクシー」を組み合わせた移動が多い傾向が見られた。

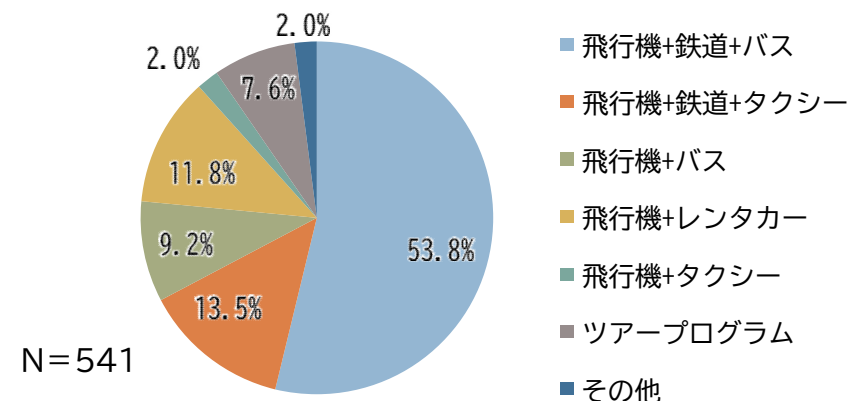
外国人アンケートの結果(左:登別温泉側、右:登別駅側)



登別温泉側の回答



登別駅側の回答



確認できた
傾向

- ✓ 登別温泉側では「レンタカー」を利用した移動が最も多い
- ✓ 交通結節点であるヌプルでは「鉄道+バス」「鉄道+タクシー」のODが多い傾向

(3)外国人アンケートの結果概要

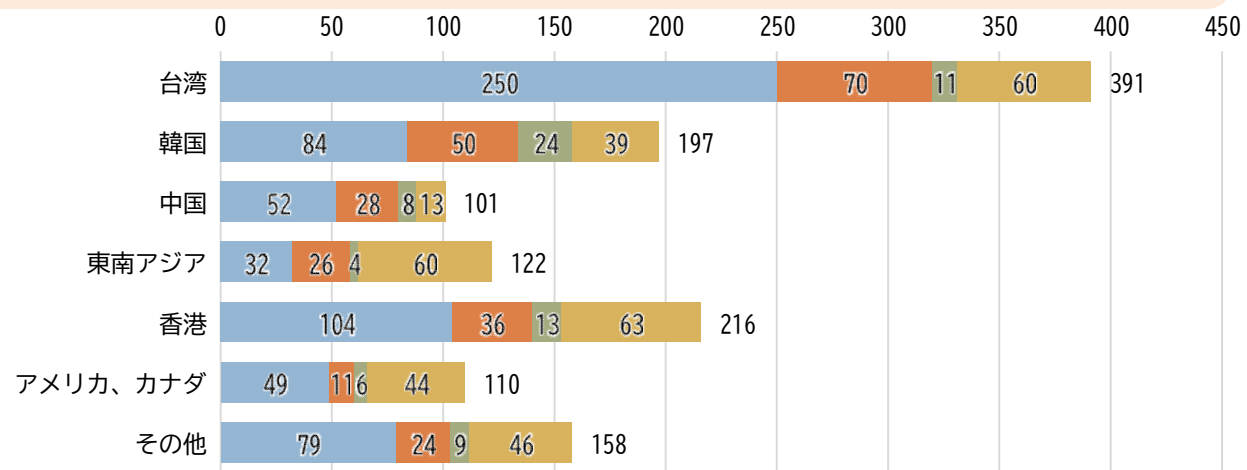
満足度・改善点

- 全体の50.2%が「使いやすい」・18.9%が「普通」と回答し、「使いにくい」と回答したのは5.8% (75人/1295人)である。
- 改善点は「現状で満足している」が27.8%と最も多い結果となっているが、次いで「運行本数の増加」が26.1%と多い結果となっている。

公共交通の満足度、評価

重要なポイント

✓ 回答者の多くは、公共交通を『使いにくい』とは回答していない。



N=1,295

改善すべき点・より良くするポイント

	台湾	韓国	中国	東南アジア	香港	アメリカ、カナダ	その他	合計	割合
現状で満足している	147	38	20	19	47	29	46	346	27.8%
運行本数の増加	75	72	32	30	66	15	35	325	26.1%
多言語化	28	23	8	19	20	9	14	121	9.7%
運賃の値下げ	34	30	10	9	15	8	7	113	9.1%
荷物スペースの設置	28	6	6	6	14	6	10	76	6.1%
キャッシュレス化の推進	17	22	17	15	20	9	10	110	8.8%
オンライン予約	13	9	3	11	7	2	10	55	4.4%
ホテルへの直通便	29	17	12	8	20	7	5	98	7.9%
合計	371	217	108	117	209	85	137	1,244	

(4)日々の「移動」に関する意見交換会

- ・地域公共交通の現状や課題等について説明した後、日頃から抱えている生活に欠かせない「移動」に関する悩みや将来に対する不安を「買い物」、「通院」、「おでかけ」などのテーマに沿ってグループトークを行った。
- ・意見交換会に参加できない方向けに、令和8年7月10日(金)～8月7日(金)の期間にインターネットでも悩み等の受付を行った。
- ・どの地域でも冬の移動や免許返納後の移動手段に対する不安が多くあった。また、現状、自家用車での移動がほとんどであり、公共交通機関を利用していなかったため、乗り方や公共交通機関の行先がわからないといった声もあった。

意見交換会の概要

項目	内容
実施時期	令和8年8月4日(火)/8月5日(水)/8月7日(金)
実施場所	・鷺別コミュニティセンター【鷺別地区】 ・登別市民会館【幌別地区】 ・登別市観光交流センター(ヌプル)【登別地区】
参加人数	17名(3会場の合計)
流れ	・公共交通の現状等の説明 ・生活に欠かせない「移動」に関する悩み等を「買い物」、「通院」、「おでかけ」などのテーマに沿ってグループトーク
WEB回答数	2件



▲意見交換会(グループトーク)の様子

生活に欠かせない「移動」に関する

悩み・将来への不安をお聞かせください



日々の「移動」に関する

意見交換会を開催します

登別市では、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現などを目指す「登別市地域公共交通計画」の改訂を進めており、その計画をより良いものとするため、市民の皆さんが日頃から抱えている生活に欠かせない「移動」に関する悩みや将来に対する不安などをお聞かせるため、意見交換会を開催します。

「免許返納したいけど、車がないと買い物にもいけない」、「バス停から家までが坂道で歩くのがつらい」、「病院に行く手段がない」など、皆さんが感じている悩みや不安等をお聞かせください。

多くの方のご参加、お待ちしております。

【意見交換会の開催日程】

開催日時	開催場所
8月4日(火) 午後2:00～	鷺別コミュニティセンター
8月5日(水) 午後2:00～	市民会館
8月7日(金) 午後2:00～	観光交流センターヌプル

※意見交換会の時間は1時間程度で、同じ内容を行います

インターネットでも 受け付けています

当日参加することができない方のために、インターネットでも悩み等を受け付けています。

受付期間
7月10日(金)～8月7日(金)

<https://logoform.jp/f/eE7Gu>



当日参加することができない方のために、インターネットでも悩み等を回答できるように設定

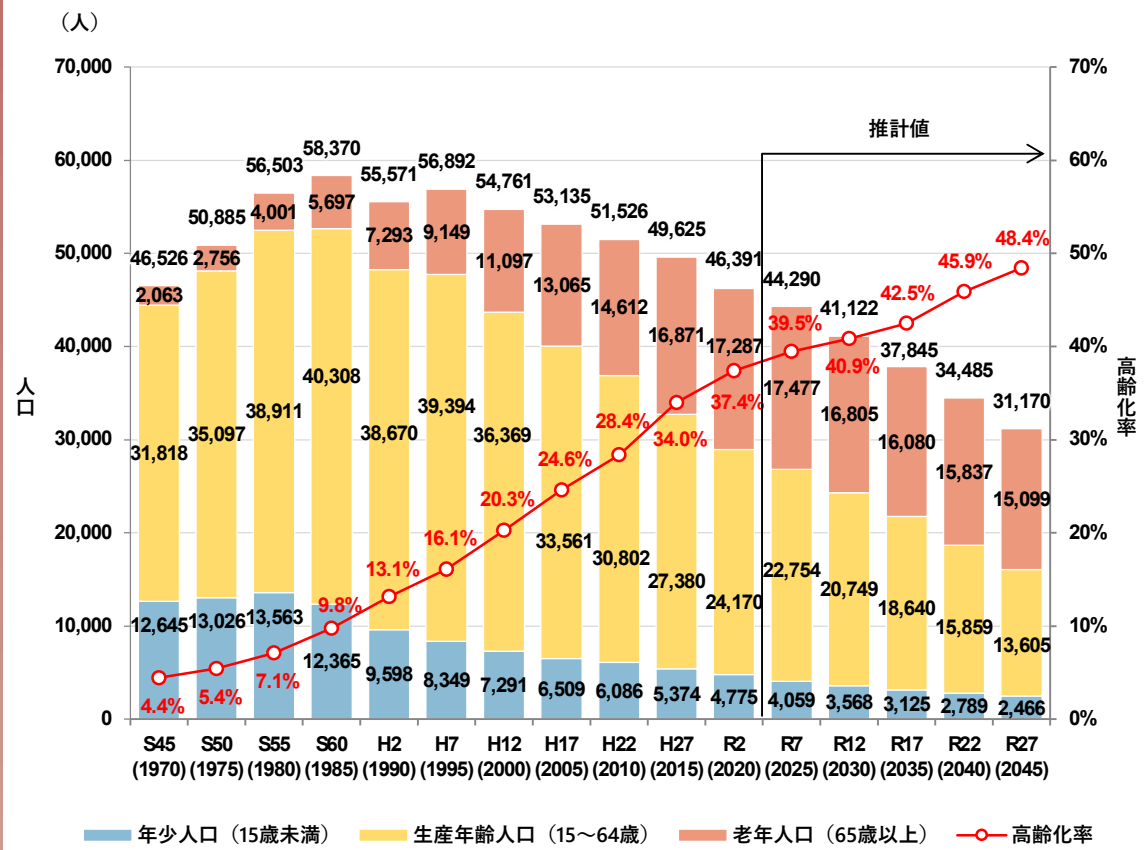
▲広報紙、市公式ウェブサイト、町内会回覧による周知

③ 登別市の現状整理（統計データ分析）

(1)人口情報及び公共交通ネットワークのカバー状況

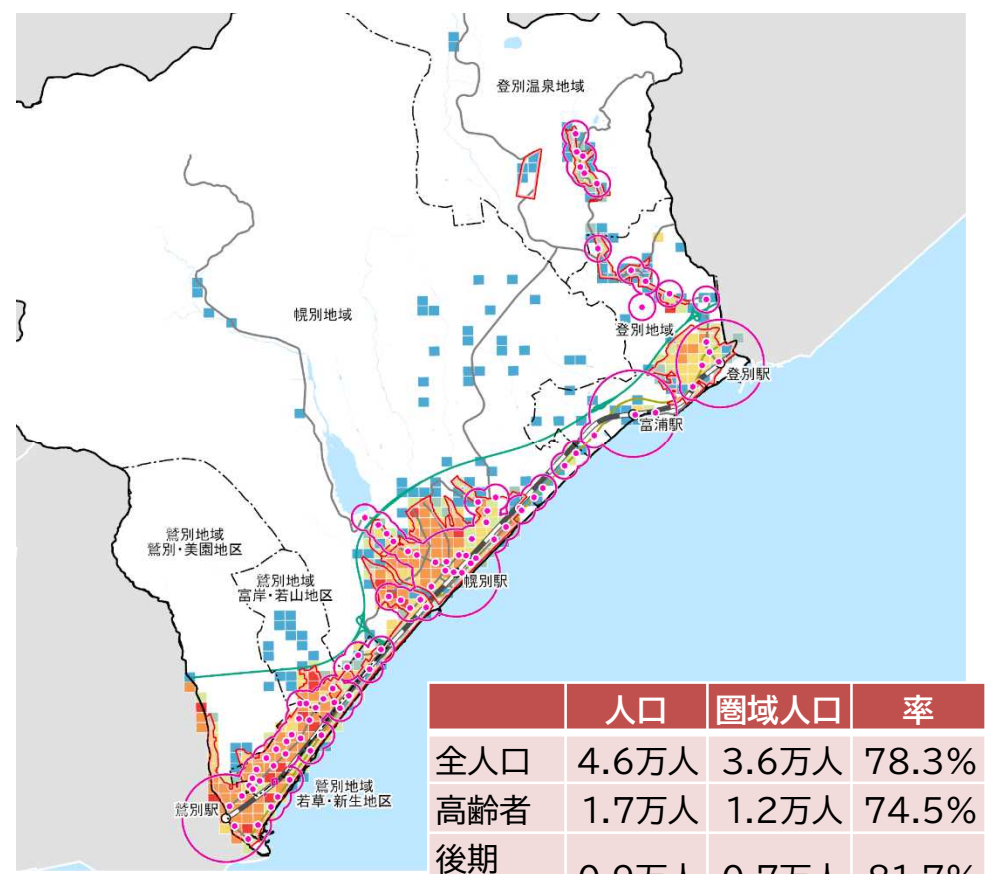
- 1985年をピークに人口は減少傾向であり、高齢化率は上昇傾向である。(少子高齢化の進行)
- 公共交通のカバー圏域には、全人口の78.3%が含まれており、高齢者(65歳以上)では74.5%、後期高齢者(75歳以上)では81.7%が含まれている。

登別市の人口は減少傾向にあり、高齢化が進行



出典:国勢調査

登別市の人口は減少傾向し、高齢化が進行



圏域:バス停=300m、鉄道駅=800m

今後

✓ 登別市保有データ(人口データ)を基に、令和7年度まで実数値として再整理する。

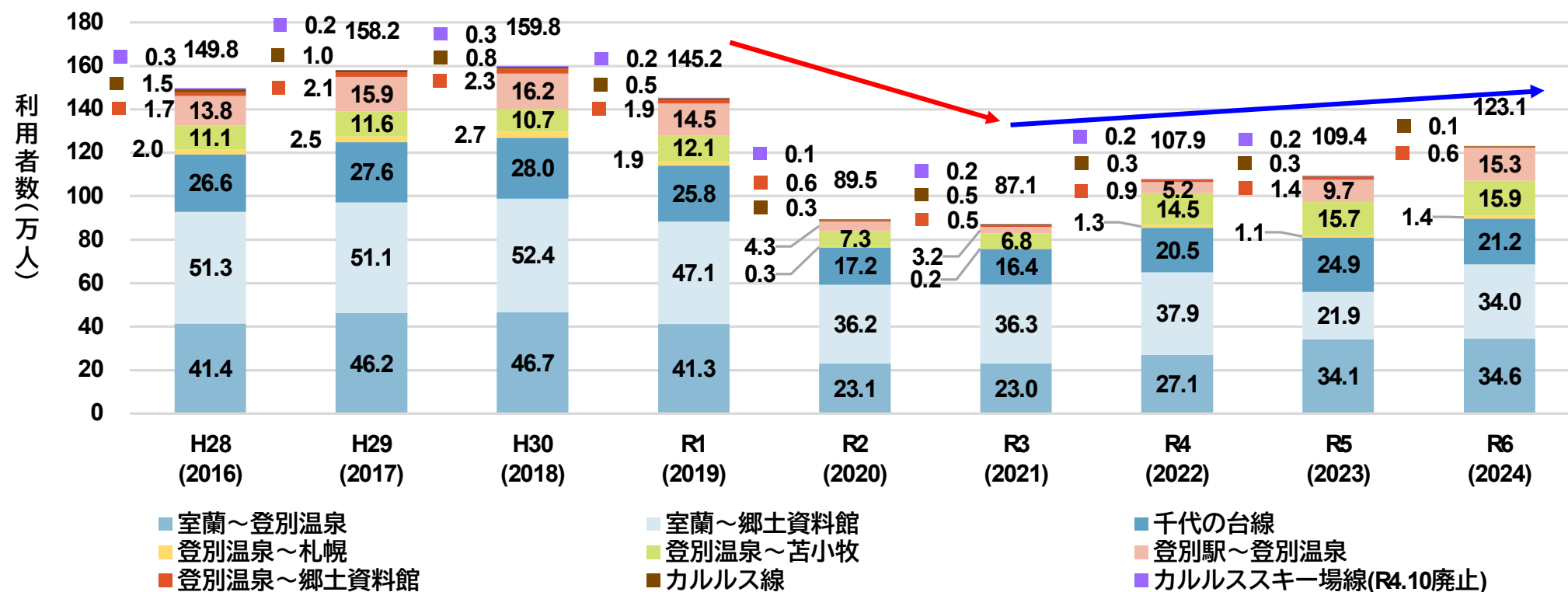
(2)公共交通の利用状況

- ・コロナ禍を契機にバスの利用者数が激減した。令和4年度から回復傾向にあるが、コロナ禍前の利用者数までは回復していない。
- ・「登別温泉・苫小牧」の路線は、コロナ禍以前の水準を上回っている。

路線バスの利用者数の推移

ポイント

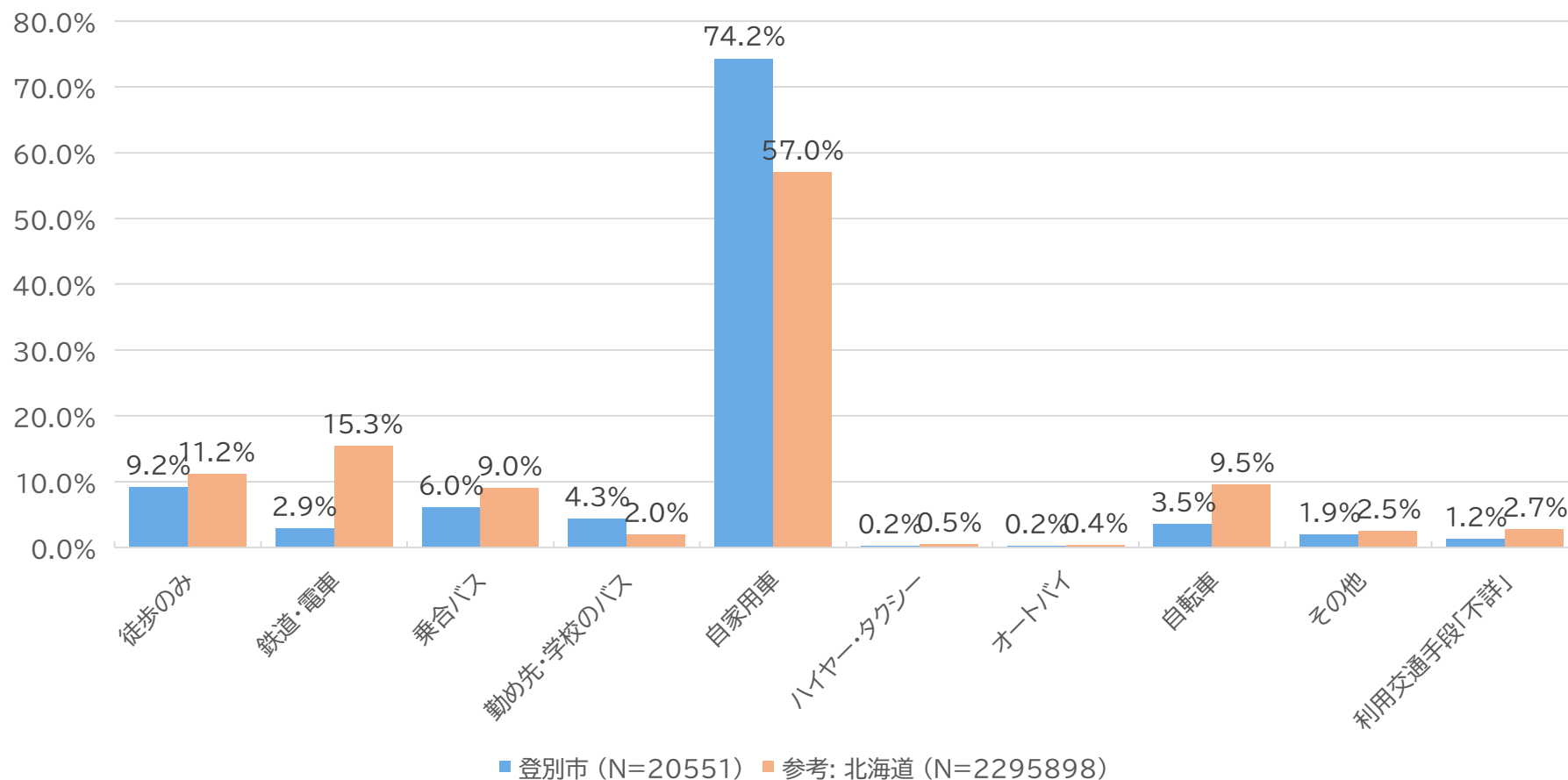
✓ 事業者ヒアリングでも利用者数が戻っていないことと整合。利用者数確保に向けた取組が必要。



(2)公共交通の利用状況

- 登別市の通勤・通学時における交通手段分担率は、自家用車が74.2%と最も高く、次いで徒歩のみが9.2%となっている。
- 北海道全域での状況と比較すると、自家用車の分担率は17.2ポイント高い。また、公共交通である鉄道・電車の分担率は12.5ポイント低く、バスの分担率は2.9ポイント低い。

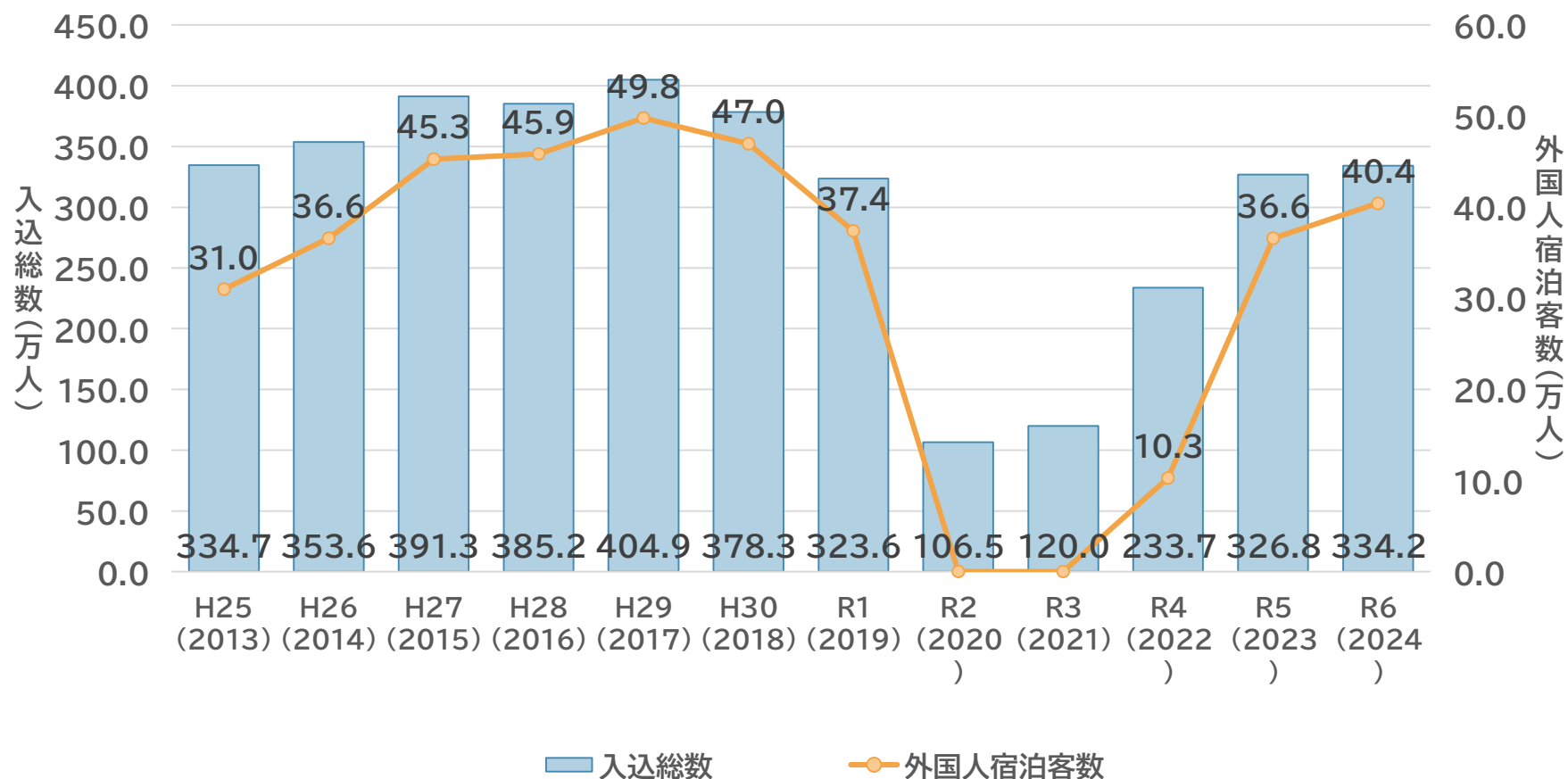
通勤通学における交通手段分担率は「自家用車」の利用が圧倒的に多い



(3)外国人の来訪者動向

- 外国人観光客の入込客数は、コロナ禍において一時的に減少したものの、近年は回復傾向にある。
- 交通事業者ヒアリングにおいても、登別温泉を中心に外国人観光客による公共交通の利用が確認されている。今後も外国人観光客の増加が見込まれることから、移動手段の確保と利用促進を図り、公共交通事業者の収益確保につなげる視点が重要である。

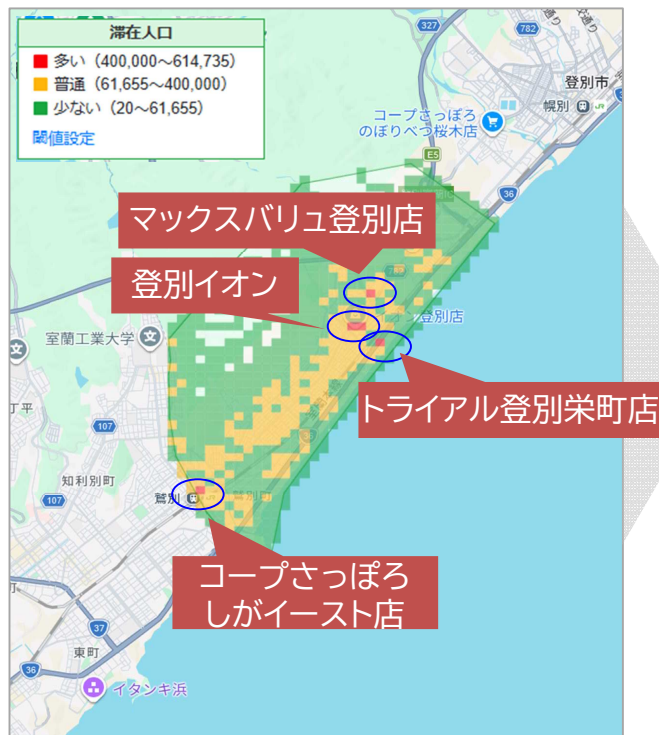
観光客の入込客数及び外国人宿泊客数の推移



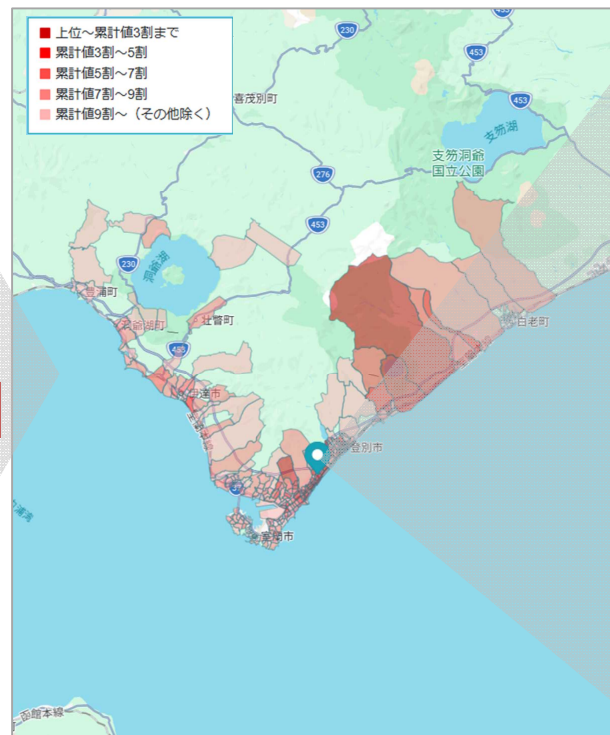
(4)人流データ分析

- 鷺別地域では、日常の買い物を行う商業施設への滞在人口が多い。
- 最も滞在人口の多い「イオン登別店」には若草町・新生町・富岸町など近隣地区からの来訪が多い

鷺別地域：滞在人口分析



例：登別イオンへの来訪者人口分析



ポイント

- 鷺別地域では、商業施設への来訪が上位を占める。
- 商業施設(イオン登別店)では、新生町、若草町、鷺別町、富岸町を中心とした周辺住宅地からの来訪が多く、地域住民の日常的な買物需要を支える生活利便拠点として機能している。

